

# 埼 玉 県 歌

岸上のぶを 作詞  
神保光太郎 補作  
・ 明本 京静 作曲

- |  |   |
|--|---|
| 1 秩父の雲の むらさきに<br>風もみどりの むさし野よ<br>恵み豊かな この山河<br>われら 生まれて ここにあり<br>おお 埼玉 埼玉 輝く埼玉 | 3 日に日に進む 産業に<br>こぞるちからも たくましく<br>希望はもえる このあした<br>われら 明るく ここにあり<br>おお 埼玉 埼玉 輝く埼玉 |
| 2 古き伝統 新しき<br>生命をこめて しあわせの<br>未来をひらく この文化<br>われら つどいて ここにあり<br>おお 埼玉 埼玉 輝く埼玉   | 4 北に大利根 荒川は<br>南をめぐり 人和して<br>県旗はまがたま この理想<br>われら ちかって ここにあり<br>おお 埼玉 埼玉 輝く埼玉    |

---

## 埼 玉 県 の シ ン ボ ル

県の愛称「彩の国」「彩」は、いろどりや美しさを表す言葉で、四季折々の色彩豊かな自然に恵まれ、産業、文化、学術などさまざまな分野で発展する多彩な国、埼玉県を表現している。(平成4年11月14日選定)

県章



まが玉16個を円形に並べたもの。埼玉県名由来の一つとされる「幸魂（さきみたま）」の「魂」は、「玉」の意味でもあり、まが玉は、埼玉県にゆかりの深いものとなっている。また、まが玉を円形に配置したデザインは、「太陽」「発展」「情熱」「力強さ」を表している。(昭和39年9月1日制定)

彩の国  
キャンペーンマーク



愛称「彩の国」の一層の普及を図るため3人が手を取り、肩を組み合わせ、楽しく元気に前へ進もうとしているイメージを表現している。「夢がいっぱい＝ブルー」、「元気がいっぱい＝レッド」、「自然がいっぱい＝グリーン」を表している。(平成5年11月14日に選定)

埼玉県のマスコット

「コバトン」&「さいたまっち」



「コバトン」は県の鳥であるシラコバトをモチーフに、2004年に埼玉県で開催された彩の国まごころ国体の大会マスコットとして登場した。「シラコバト」と「バトン」で「コバトン」。2005年1月4日より県のマスコットとなった。「さいたまっち」は「コバトン」誕生から15年目「コバトン」と共に埼玉県を盛り上げるキャラとして開発。(2014年11月14日に誕生)

そのほか、県の花「サクラソウ」・県の木「ケヤキ」・県民の鳥「シラコバト」・県の魚「ムサシトミヨ」・県の蝶「ミドリシジミ」

出典：埼玉県ホームページより

○ 講 演 会 ..... (15:00~16:30)

演 題 『比企一族の発掘と顕彰』 - NHK大河ドラマへの道

講 師 高 島 敏 明 氏

(比企総合研究センター代表)

# 来 賓 芳 名

埼玉県知事	大野元裕様
埼玉県議会議長	齊藤邦明様
埼玉県教育委員会教育長	日吉亨様
さいたま市教育委員会教育長	竹居秀子様
嵐山町長	佐久間孝光様
嵐山町教育委員会教育長	下村治様
全国連合退職校長会会長	田中昭光様
埼玉県市町村教育委員会連合会会長	柿沼拓弥様
埼玉県都市教育長協議会会長	柿沼光夫様
埼玉県町村教育長会会長	中村敏明様
埼玉県教育局市町村支援部部長	吉田勇様
埼玉県教育局市町村支援部小中学校人事課長	越晃宏様
埼玉県教育局西部教育事務所長	小林美音様
埼玉県公立小学校校長会会長	栗原孝子様
埼玉県中学校長会会長	江原勝美様
埼玉県高等学校長協会会長	加藤哲也様
顧 問	清水章夫様
顧 問	石田孝作様

# 慶 祝 叙 勲

(敬称略)

## 令和5年度高齢者叙勲 (75名)

令和5年4月1日～令和6年3月31日

大 宮	若山 法一 (故)	岩 槻	中野 光造	川 口	杉内 トシ
川 口	谷川 泰司	川 口	荒井 恒一	川 口	青木 康三
川 口	粉川久仁子	川 口	洪井 和夫	草 加	齋藤 完
草 加	戸張 久	草 加	若林 誠満	朝 霞	比留間直道
朝 霞	星野 利男	朝 霞	駒形 一夫	朝 霞	根岸 彩子
上 尾	田松 俊雄 (故)	上 尾	小高 猛	鴻 巣	大木 恒夫 (故)
鴻 巣	長島 富生	鴻 巣	鴻巣 雅子	川 越	鯨井 愛子
川 越	仲田 博司	川 越	高橋喜美子	狭 山	小林啓三郎
狭 山	杉本 健一	所 沢	青木 朋江	飯 能	飯島 士郎
飯 能	市川 義男	飯 能	大高 秀夫	越 生	酒本 忠雄
坂 戸	原口 久江	坂 戸	松永 匡可	入 間	竹田 四郎
東松山	福島 安子	滑 川	堀口 近三	滑 川	酒井 香
滑 川	権田 哲雄	小 川	笠間 浩	吉 見	原口 一良
秩父市	吉岡 義夫 (故)	秩父市	中村 忠男	秩父市	杉田 守正 (故)
皆 野	篠 佳三郎	美 里	櫻沢 郷雄	美 里	卜部 兼良
神 川	小林 利安	熊 谷	島田 道郎	熊 谷	飛田 典保
熊 谷	高田 勇	熊 谷	深澤 秋雄	熊 谷	新井 昇
寄 居	木島 宏	寄 居	高橋 信安	寄 居	福島 孝秋
行 田	細村 圭右	行 田	藤間 達男	羽 生	大手 俊彦
羽 生	藤田 昇一	加 須	三井 重雄	加 須	島崎 雅夫
加 須	野中 眞也	春日部	田中 貞二	春日部	間中 忠男
春日部	久保谷昌夫	春日部	伊藤 博 (故)	越 谷	植竹日出男
蓮 田	中田 茂	白 岡	黒須 利男	宮 代	島村 三郎
宮 代	折原 平吉	幸 手	龜場 豊	杉 戸	仁部 前明
杉 戸	田村 賢一	杉 戸	仁部 彌生	松 伏	新井 清司

## 令和5年度秋叙勲 (7名)

浦 和	木村 栄二	草 加	高木 宏幸	東松山	松本 秋男
小鹿野	笠原 浩	皆 野	豊田 尚正	熊 谷	田嶋 章
加 須	福田 孝夫				

## 令和6年度春叙勲 (9名)

朝 霞	小林 正高	飯 能	澤田 清志	嵐 山	奥田 定男
鳩 山	関口 充	秩 父	磯田 喜次	上 里	金澤 清久
羽 生	川俣 守男	越 谷	山口 竹美	八 潮	甲田 正樹

(市町村等名称は班名)

# 令和5年度事業報告

## 活動の重点

- 1 組織活動の充実並びに会員の親睦と福祉の増進を図る。
- 2 教育行政機関・現職校長会及び教育諸団体との連携を密にし、県教育の振興に寄与する。
- 3 学校支援、社会奉仕活動に積極的に参加し、生涯学習活動の活性化に寄与する。
- 4 「彩の国教育の日」に関わる諸活動の充実について積極的に支援する。
- 5 「入会の案内」、「会報」、「ホームページ」等を活用してきめ細かな広報活動を展開し、定年退職校長の全員加入を目指した勧誘に努める。
- 6 本部と支部との連携をいっそう緊密にするとともに、専門部活動の充実に努める。

## 事業の概要

- 1 会 議
  - (1) 定期総会 1回 6月2日(金) さいたま市・さいたま市文化センター  
講演会併催
  - (2) 支部総会 5月 10支部 10会場
  - (3) 理事会 2回 10月・3月 さいたま市・浦和コミュニティセンター
  - (4) 支部長会 3回 5月・9月・2月 さいたま市・浦和コミュニティセンター
  - (5) 総会実施委員会 2回 5月 さいたま市文化センター 12月 嵐山町・国立女性教育会館
  - (6) 監査会 1回 4月
  - (7) 幹事会 随時
- 2 専門部の活動
  - (1) 研究調査部会 2回 校長退職時の再就職・待遇に関する実態調査等
  - (2) 福利厚生部会 2回 退職校長会入会案内の作成・配布、新会員名簿の作成  
年金問題等の検討、囲碁(10/6)・ゴルフ大会(10/16)
  - (3) 広報部会 2回 会報の企画・発行、配布(年3回)、ホームページの充実  
ニュースレターの発行(年2回)、全連退会報配布(年4回)
  - (4) 庶務会計部会 1回 会費納入、会員数の確認、経理上の情報交換等
- 3 要望書提出 9月 県知事・県議会議員・県教育委員会教育長宛、等
- 4 関ブロ千葉大会参加 10月26日・27日 千葉市「ホテルポートプラザちば」
- 5 「彩の国教育の日」協賛、現職・退職校長支部別教育推進協議会  
10支部 10月～11月(教育事務所・現職校長・会員等)
- 6 現・退校長会役員研究協議会 1回 現職小・中校長会役員との研究協議会(12/13)
- 7 長寿会員祝賀 随時 ◇上寿(百歳): 寿詞記念品贈呈 該当誕生日  
2回 ◇米寿: 寿詞贈呈…春季・秋季理事会、会報に記載  
◇傘寿: 会報に記載
- 8 栄誉会員の顕彰 6月 定期総会時
- 9 物故会員弔慰 供……………香料・弔辞(98名、令和6年3月31日現在)

# 令和5年度 収入・支出決算報告

## ◇収入の部

令和6年3月31日現在 (単位 円、△印 減)

項 目	本年度予算額(A)	決算額(B)	比較増減(B-A)	付 記
1 会 費	8,192,500	8,015,000	△ 177,500	2,500円×3,206人
2 雑 収 入	30	28	△ 2	預金利息
3 繰 越 金	1,405,709	1,405,709	0	繰越金
計	9,598,239	9,420,737	△ 177,502	

## ◇支出の部

項 目	本年度予算額(A)	決算額(B)	比較増減(B-A)	付 記
1 会 議 費	1,300,000	1,260,673	△ 39,327	
(1) 総 会 費	800,000	797,526	△ 2,474	代議員旅費、印刷費、諸費等
(2) その他の会議費	500,000	463,147	△ 36,853	支部長会、理事会、専門部会等
2 事 務 費	894,000	847,150	△ 46,850	
(1) 通信・運搬費	400,000	383,824	△ 16,176	郵便料、会報送料等
(2) 印刷・消耗品費	290,000	270,326	△ 19,674	諸印刷、用紙、封筒等
(3) 事務手当	204,000	193,000	△ 11,000	手当、謝礼
3 事 業 費	2,913,100	2,687,163	△ 225,937	
(1) 会報発行費	920,000	820,675	△ 99,325	会報印刷代、ホームページ等
(2) 研 修 費	983,100	961,800	△ 21,300	300円×3,206人
(3) 教育推進費	120,000	105,000	△ 15,000	支部別推進協議会・総会等
(4) 講演会費	200,000	161,544	△ 38,456	講師謝礼、看板等
(5) 旅 費	690,000	638,144	△ 51,856	諸会議旅費、役員旅費等
4 負 担 金	1,560,800	1,512,800	△ 48,000	
(1) 全連退負担金	1,500,800	1,468,800	△ 32,000	400円×3,672人(長寿会員含む)
(2) 関ブロ負担金	60,000	44,000	△ 16,000	千葉県会場、2名参加
5 特別積立金	300,000	300,000	0	特別会計へ
6 慶 弔 費	1,200,000	1,066,500	△ 133,500	米寿(寿詞)、香典
7 関ブロ大会準備	300,000	300,000	0	関ブロ埼玉大会準備積立
8 事務局使用料	264,000	264,000	0	1か月22,000円。R.5年4月～R.6年3月
9 予 備 費	866,339	0	△ 866,339	
計	9,598,239	8,238,286	△ 1,359,953	

◇差引残高 9,420,737 - 8,238,286 = 1,182,451 円 (次年度繰越金)

### ◎特別積立金現在高

積 立 高		支 出 高	
前年度末現在高	894,359	退任役員記念品代	340,000
利 息	5		
本年度積立金	300,000		
関東ブロック積立金	300,000		
計	1,494,364	計	340,000

◇差引現在高 1,494,364 - 340,000 = 1,154,364 円

上記の通り報告します。

令和6年3月31日

埼玉県退職校長会会長

新 井 俊 一

監査の結果、上記の通り相違ないことを認めます。

令和6年4月5日

監 事

大 嶋 伸 之

下 山 彰 夫

富 田 三千彦

# 令和6年度事業計画

## 活動の重点

- 1 組織活動の充実並びに会員の親睦と福祉の増進を図る。
- 2 教育行政機関・現職校長会及び教育諸団体との連携を密にし、県教育の振興に寄与する。
- 3 学校支援、社会奉仕活動に積極的に参加し、生涯学習活動の活性化に寄与する。
- 4 「彩の国教育の日」に関わる諸活動の充実について積極的に支援する。
- 5 「入会の案内」、「会報」、「ホームページ」等を活用してきめ細かな広報活動を展開し、役職定年退職校長等の加入を目指した会員勧誘に努める。
- 6 本部と支部との連携をいっそう緊密にするとともに、専門部活動の充実に努める。

## 事業の概要

- 1 会 議  
(1) 定期総会 1回 6月7日(金) 嵐山町・国立女性教育会館(講堂)  
講演会併催  
(2) 支部総会 5月 10支部 10会場  
(3) 理事会 2回 10月・3月 さいたま市・浦和コミュニティセンター  
(4) 支部長会 3回 5月・9月・2月 さいたま市・浦和コミュニティセンター  
(5) 総会実施委員会 2回 5月 嵐山町・国立女性教育会館 12月 会場未定  
(6) 監査会 1回 4月  
(7) 幹事会 随時
- 2 専門部の活動  
(1) 研究調査部会 2回 校長退職時の再就職・待遇に関する実態調査等  
(2) 福利厚生部会 2回 退職校長会入会案内の作成・配布、新会員名簿の作成  
年金問題等の検討、囲碁(10/4)・ゴルフ(10/21)大会等の開催  
(3) 広報部会 2回 会報の企画・発行、配布(年3回)、ホームページの充実  
ニュースレターの発行(年2回)、全連退会報配布(年3回)  
(4) 庶務会計部会 1回 会費納入、会員数の確認、経理上の情報交換等
- 3 要望書提出 9月 県知事・県議会議員・県教育委員会教育長宛、等
- 4 関プロ栃木大会参加 10月24日・25日 宇都宮市「ホテルニューイタヤ」
- 5 「彩の国教育の日」協賛、現職・退職校長支部別教育推進協議会  
10支部 10月～11月 教育事務所・現職校長・会員 等
- 6 現・退校長会役員研究協議会 1回 12月 現職小・中校長会役員との研究協議会
- 7 長寿会員祝賀 随時 ◇上寿(百歳): 寿詞記念品贈呈 該当誕生日  
2回 ◇米寿: 寿詞贈呈…春季・秋季理事会、会報に記載  
◇傘寿: 会報に記載
- 8 栄誉会員の顕彰 6月 定期総会時
- 9 物故会員弔慰 供……………香料・弔辞

## 令和6年度 収入・支出予算書

### ◇収入の部

(単位 円、△印 減)

項 目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	比較増減(A - B)	付 記
1 会 費	7,927,500	8,192,500	△ 265,000	2,500円×3,171人
2 雑 収 入	28	30	△ 2	預金利子
3 繰 越 金	1,182,451	1,405,709	△ 223,258	
計	9,109,979	9,598,239	△ 488,260	

### ◇支出の部

項 目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	比較増減(A - B)	付 記
1 会 議 費	1,400,000	1,300,000	100,000	
(1) 総 会 費	900,000	800,000	100,000	代議員旅費、印刷費、諸費等
(2) その他の会議費	500,000	500,000	0	支部長会、理事会、専門部会等
2 事 務 費	894,000	894,000	0	
(1) 通信・運搬費	400,000	400,000	0	郵便料、会報送料等
(2) 印刷・消耗品費	290,000	290,000	0	諸印刷、用紙、封筒等
(3) 事務手当	204,000	204,000	0	手当
3 事 業 費	2,901,300	2,913,100	△ 11,800	
(1) 会報発行費	920,000	920,000	0	会報印刷代、ホームページ等
(2) 研 修 費	951,300	983,100	△ 31,800	300円×3,171人
(3) 教育推進費	120,000	120,000	0	支部別推進協議会
(4) 講演会費	200,000	200,000	0	講師謝礼、看板、垂れ幕等
(5) 旅 費	710,000	690,000	20,000	諸会議旅費、役員旅費等
4 負 担 金	1,525,200	1,560,800	△ 35,600	
(1) 全連退負担金	1,459,200	1,500,800	△ 41,600	400円×3,648人(含長寿会員477人)
(2) 関プロ負担金	66,000	60,000	6,000	令和6年度は栃木県開催予定
5 特 別 積 立 金	300,000	300,000	0	特別会計へ
6 慶 弔 費	1,200,000	1,200,000	0	米寿(寿詞)、香典
7 関プロ大会準備	300,000	300,000	0	関プロ大会準備積立
8 事務局使用料	264,000	264,000	0	1ヶ月 22,000円×12ヶ月分
9 予 備 費	325,479	866,339	△ 540,860	
計	9,109,979	9,598,239	△ 488,260	

# 令和6年度 役員名簿

(令和6年6月7日現在)

顧問	清水 章夫	石田 孝作		
会長	新井 俊一			
副会長	桑原 裕通 (研) 野口 淳一 (福)	神山 則幸 (研) 栗田 憲昭 (広)	比留間英雄 (広) 九ノ里幸子(福・女)	内田 眞弘 (広) 稲葉 昭一
監事	大嶋 伸之	下山 彰夫	小島 浩司	
支部〈理事数〉	◎支部長			
さいたま市〈14〉	◎桑原 裕通 三村 昇 佐藤 薫 加々美健一	金子 敏夫 (広) 星野 貞邦 井上 馨 秋元千代子	松下 道夫 野口 浩 (会) 佐藤 博志 (福)	野口 英世 藍川 達雄 大河内哲二 (研)
北足立南〈12〉	◎神山 則幸 小濱 治人 (会) 高木 宏幸	南 勇 森山 征夫 中村 文夫 (研)	渡邊 秀人 佐藤 誠造 (福) 柿崎 勲	小林 博武 加藤 正明 (広) 小川 廣徳
北足立北〈6〉	◎井関由美夫 三ツ木和代 (広・H)	福田 安孝 松田 康秀 (会)	中村 敏男 (研)	奈良 高男 (福)
入間〈19〉	◎比留間英雄 須ヶ間 章 佐藤 信弘 栗田 博 西澤 泰男	吉武 覚 (福) 志村 純悦 鯉沼 文夫 高橋好次郎 大室 重喜	熊本美智子 (広) 佐々木正憲 山川 治美 渡邊 俊雄 (研) 山田 幸次	柳 榮治 羽田 禮子 (会) 原 邦宏 山中伊久枝
比企〈9〉	◎酒井 克 文屋 芳浩 (研) 金 朝子(研・女)	清水 孝一 内田 哲雄 (会)	後藤 繁 市川 浩 (広)	山本 高志 (福) 田中 久隆
秩父〈6〉	◎前堅 進一 吉田 和敬 (会)	笠原 浩 (研) 石原 明	村田 博美 (福)	尾上 貴宣 (広・H)
児玉〈6〉	◎勝山 勉 濱名 博昭	久保島康正 (研) 小浦方雄司 (会)	小峰 義明 (福)	根岸 康雄 (広・H)
大里〈10〉	◎植竹 豊 荒木 宏治 福島 裕 (広・H)	鶴間 信好 吉井恵美子 (会) 神田 昌文	福島 辰夫 松島 猛 (研)	神谷 為義 小林 晃一 (福)
北埼玉〈9〉	◎富田 政博 塚越 要 (広・H) 柏瀬 裕之	関根 勇 東郷 里子 (研)	角屋 房男 佐藤 明彦 (福)	武正 和巳 高野 真一 (会)
埼葛〈14〉	◎野口 淳一 増田 晴一 佐藤 順一(広・H) 城取 英孝	堀内 幸男 (福) 藤原 一夫 山口 竹美 大塚 和彦	橋本 久雄 中村 孝 桜井 義幸 (研)	川田 文彦 (会) 小林 弘和 小澤 勇
事務局	事務局長 幹事	稲葉 昭一 野本キミ子 高取 廣美 眞嶋 廣久 加藤 美幸 福島 博子	川野 勉 山崎 俊 小林 俊雄 本多 英夫	羽鳥 隆夫 鈴木 光二 荻田 哲男 福田由美子

※ (研) …研究調査部 (福) …福利厚生部 (広) …広報部 (会) …庶務会計部 (H) …HP担当  
(女) …女性校長会推薦



# 「彩の国教育の日」協賛、現職・退職校長会支部別教育推進協議会

令和5年度

支 部	期 日 時 間	会 場	参加者数				研究発表主題 (○現職校長の発表 ●退職校長の発表)
			来賓	現職	退職	合計	
さいたま市	11. 24(金) 14:00～ 16:50	市民会館 おおみや (レイボックホール)	2	48	47	97	○小学校 「学校経営ビジョンの実現を図る活力ある組織づくりと運営」～誇り高き子どもを育むための活力ある運営～ ○中学校 「教科指導におけるICT活用と教員のICT活用指導力の向上を目指して」 ●生涯学習上の諸課題「幼稚園の抱える諸課題」
北足立南部	11. 16(木) 14:30～ 16:30	川口市立 並木公民館	5	40	38	83	○小学校 「幼保小中を一貫した草加の教育の取組について」 ○中学校 「学校安全対策に向けての取組」 ●「子どもの放課後の居場所の在り方」
北足立北部	10. 27(金) 13:35～ 16:10	上尾市 文化センター	3	33	29	65	○小学校 「児童生徒の生きる力へと結びつく『基礎的・汎用的能力』の育成～対話的に学びあう児童の育成 児童も教師も楽しい道德教育を目指して～」 ○中学校 「自ら考え、夢をもって生きる生徒の育成」～持続可能な社会の実現に向け、自己のキャリアや発達を促す教育～ ●「社会的に自立する力を育成するには」～キャリアコンサルタントの仕事を通して感じること～
入 間	11. 7(火) 14:00～ 16:30	入間市産業 文化センター ホール	2	82	75	159	○小学校 「5つの柱を充実させ、学校力を高める」 ○中学校 「誰もが居場所のある山口中学校」 ●「郷土の文化遺産火工廠を語り継ぐ」
比 企	11. 22(水) 14:00～ 16:30	東松山市 市民文化 センター	3	32	35	70	○小学校 「一人一人の児童が輝き、笑顔と希望にあふれる学校づくりをめざして」～「新しい学校の生活様式」からのアフターコロナの学校づくり ●「同好の仲間と健康づくりの日々」
秩 父	10. 10(火) 14:00～ 16:40	皆野町 文化会館	3	31	21	55	○小学校 「横瀬小の学校経営について」 ●「秩父地区退職校長会の今後を目指して」
児 玉	11. 16(木) 15:00～ 17:15	五州園	2	19	45	66	○小学校 「地域とともにある学校」 ○中学校 「校舎大改修工事下における学校経営と働き方改革の推進について」 ●「趣味のある日々と私に残された日々」
大 里	11. 7(火) 14:00～ 16:40	深谷市民 文化会館 小ホール	4	63	56	123	○中学校 「私が誇るまち 熊谷に学ぶ 日本一の荒中生の育成」 ●「趣味仲間と共に」4名によるミニコンサート
北 埼 玉	11. 8(水) 15:00～ 16:30	加須市北川 辺文化学習 センター	3	42	40	85	○中学校 「豊かな心を持ち、自他共によりよく生きようとする生徒の育成」 ●「私の歩んで来た道」
埼 葛	11. 18(土) 10:00～ 12:00	幸手市北公 民館ホール	7	65	50	122	○小学校 「子どものよさを伸ばし、ワクワク(探究心)する学校づくり」～ウェル・ビーイングな学校づくりと探究型学習を柱とした学校教育の推進～ ○中学校 『久喜市版未来の教室』実現に向けて～生徒の学びの充実と教職員の校務の効率化～ ●「ルネッサンスの名画から学ぶこと」
合 計			34	455	436	925	